

印刷功労賞

大橋 幸成

ダイオーミウラ株式会社
取締役
企画・開発本部長



●印刷工業会

受賞理由

1993年に三浦印刷株式会社に入社し、営業、企画、生産管理等の部門にて印刷業界に関わるとともに、印刷工業会の商業印刷部会、資材部会に参加し団体活動にも携わってきた。

2017年には印刷工業会並びに日本印刷産業連合会理事に就任し、長年にわたり業界発展、地位向上に尽力した。近年はサステナビリティ推進活動においてグリーンプリンティング普及やメディアユニバーサルデザイン振興にも力を注いでいる。

武部 健也

大和出版印刷株式会社
相談役



●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

令和2年から全印工連常務理事、兵庫県工組理事長として中小印刷産業の振興・発展に務める。この間、近畿地区印刷協議会会長などの要職を務め、全印工連基本テーマ「印刷産業の構造改革」のもと、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指して、社会から求められる魅力あふれる産業へ向けての諸事業の周知・啓発に尽力するなど、中小印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

中本 俊之

株式会社中本本店
代表取締役



●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

平成28年から、全印工連常務理事、中国地区印刷協議会会長、広島県工組理事長などの要職を務める。この間、「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」というブランドスローガンに則し、印刷産業の新しい方向性を提案し、人々の幸せを作り続ける印刷産業を実現するための各種事業の推進に尽力し、中小印刷産業の発展に尽くした功績は多大である。

和田 秀一郎

株式会社プロゴワス
代表取締役社長



●日本フォーム印刷工業連合会

受賞理由

平成18年より九州フォーム印刷工業会会長を20年にわたり務め、組織の活性化と基盤強化に尽力。

平成19年より日本フォーム印刷工業連合会常任理事、令和2年より副会長に就任し、地方の現状や経験を連合会事業に反映させるなど、永年にわたり団体活動の中核を担い、フォーム印刷業界の振興発展に多大なる貢献をした。

印刷功労賞

藤田 信昭

株式会社ふじたプリント社
代表取締役



●一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

受賞理由

1998年度から2年間副会長を務めたのち、2000年度から2年間理事に就任。

さらに2004年度から2年間監事を務め、2006年度から現在まで約20年間にわたり参与の要職にある。四半世紀以上の長きにわたり数々の要職を歴任し、組織の基盤強化と業界の発展に貢献を続けている。2001年印刷振興賞受賞。

田中 尚寛

田中手帳株式会社
代表取締役社長



●全日本製本工業組合連合会

受賞理由

現在、全日本製本工業組合連合会副会長、大阪府製本工業組合理事長の要職を務める。全製工連監事として、長年、組合の財政健全化取り組みへ寄与した。

また、「紙の未来プロジェクト」委員長として、業界内外への広報による活動周知、全国大会における活動展示、継続的な展示会出展など、製本業界の業態変革モデルを示すべく、組合員事業の進化、発展に寄与する活動を牽引している。

渡辺 俊二

北日本シール印刷株式会社
代表取締役社長



●全日本シール印刷協同組合連合会

受賞理由

当連合会では、広報国際委員を2期、技術特許委員を1期、副会長を3期勤めた。

特に組織の強化と活性化に向けた取り組みには副会長在任中尽力され、組合の存在意義を明確にした活動と運営は特筆するものがあり、組合の発展に大きく貢献した。

杉山 真一郎

富士特殊紙業株式会社
代表取締役社長



●全国グラビア協同組合連合会

受賞理由

2021年「東海グラビア印刷協同組合」理事長、「全国グラビア協同組合連合会」副理事長に就任し、組合運営に携わり、組織強化、業界の振興発展に貢献している。特に近年は、適正価格への取組、環境問題に対する社会的責任の取組、過剰品質問題への取組、人手不足解決に向けた外国人労働者採用に関わる制度変更への対応等々、グラビア印刷業界、組合が抱える課題に積極的に取組み、具体的事業計画を推進してきた。各種勉強会等の計画、取適法啓蒙、VOC排出抑制規制への対応、中央官庁への働きかけ、育成就労制度への移行に関わる周知活動等組合員企業に大きな影響を与えた。

井上 亘

株式会社ショウエイ
代表取締役会長

●日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

平成19年5月GC東京の監事に就任以来、19年の長きに亘り業界団体組織の要職を歴任し、現在も理事として団体活動へ貢献している。

平成27年からはGCJ副会長並びにGC東京専務理事として全国及び東京地区の組織の中核を担い、組織の振興に努めた。常に組合の要職にあって、円滑な組合運営と活発な組合の指導的な役割として組合運営に貢献した功績は多大である。

内藤 正和

内藤プロセス株式会社
代表取締役

●全日本スクリーン・デジタル
印刷協同組合連合会



受賞理由

2020年、スクリーン・デジタル印刷技術の普及を目的とした常設ショールームを開設した。

また2021年に『スクリーン印刷作業マニュアル』改訂版を発行し、業界技術の継承と普及に貢献した。

さらに2022年、講師に菅義偉第99代内閣総理大臣を招いて連合会創立50周年記念式典を開催し、次世代に向けた業界の発展と地位向上を目指し、組合員の団結に大きく寄与した。

印刷振興賞

國府田 徳明

共同印刷株式会社
顧問(非常勤)



●印刷工業会

受賞理由

印刷工業会においては長く出版印刷部会に参加し、2022年から2024年まで幹事長を務めた。その間、部会内の各種分科会に参加して物流問題など業界の課題解決に努めるとともに、「ら・ぶっく」の活動を推進し、本や印刷の魅力を広く周知することに貢献した。自社においては、入社以来出版印刷部門に在籍し、出版社との関係性を深め、当社の業績拡大に貢献した。

曽根 秀司

株式会社DNPマーコムプロダクツ
取締役・常務執行役員



●印刷工業会

受賞理由

1981年3月大日本印刷株式会社入社。商業印刷の製造部門に従事し、モノづくりの生産改善を推進し、2014年7月に株式会社DNPグラフィカの執行役員に就任後も印刷事業の発展に大きく貢献した。

横瀬 健

株式会社千代田グラビヤ
執行役員
購買部統括部長



●印刷工業会

受賞理由

永年にわたり建材印刷部門の営業として活躍し、執行役員建材事業部長を務め、現在は購買部長として資材の安定調達や仕入先との関係強化に努めるなど、社業ならびに業界の発展に大きく貢献している。

上原 健一

株式会社ソーゴー
代表取締役



●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

令和2年から令和4年までの2年間、全印工連監事、神奈川県工組常務理事の要職を務める。この間、「印刷産業の構造改善」をテーマに、各種事業を積極的に推進し、中小印刷業界の地位向上、組織強化の推進に尽力するなど、中小印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

大川 哲郎

株式会社大川印刷
代表取締役社長



●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

平成30年から令和2年の2年間、全印工連監事、神奈川県工組副理事長の要職を務める。また、全印工連では、長年に亘りCSR推進委員を務め、企業がCSRに取り組むきっかけとして、「全印工連CSR認定制度」の創設に尽力し、業界発展に寄与した功績は多大である。

桑波田 健

岡田印刷株式会社
代表取締役社長



●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

令和2年から令和6年まで、全印工連理事、愛媛県工組理事長として中小印刷業界の振興発展に尽力する。平成24年から2年間にわたり、全印工連環境・労務委員会委員を務め、環境関連情報の収集と積極的な周知・啓発を行った功績は顕著である。

廣田 達功

株式会社ヒロタ
代表取締役



●日本フォーム印刷工業連合会

受賞理由

東北フォーム印刷工業会の理事及び会長として、長年にわたり業界活動に積極的に参画し、地域の印刷関連事業の振興に尽力するとともに、会員企業間の交流促進や情報共有、人材育成の推進などを通じて業界の活性化に多大な貢献をした。

吉村 泰明

カワセコンピュータサプライ株式会社
常務取締役



●日本フォーム印刷工業連合会

受賞理由

1987年にカワセコンピュータサプライ株式会社に入社以来営業部門の要職を務め、業界の発展に貢献するとともに、2013年より関東フォーム印刷工業会の理事に就任後、団体活動に積極的に関り、その活性化に大きく貢献した。

岡本 泰

株式会社ウィックス
代表取締役社長



●一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

受賞理由

2018年度より副会長4年、2022年度より会長を4年務める。「ジャグラコンパクトDX」を掲げ、小規模企業でも取り組めるDX推進を強力に牽引し、会員企業のビジネス活性化に多大なる貢献を果たした。

宮崎 真

株式会社ニシキコネクト
代表取締役



●一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

受賞理由

2016年度から4年間理事を務めたのち、2020年度から2年間副会長に就任。2022年度から2年間再び理事を務めた。在任中は、教育・技術委員会委員長として「ジャグラBB」や「ジャグラコンテスト」の普及に寄与し、2020年度からは生産性向上委員会担当副会長として、DX事業の推進に多大なる貢献を果たした。

富岡 誠治

有限会社TOMY'S
代表取締役社長



●全日本製本工業組合連合会

受賞理由

全製工連においては、長年、商業印刷製本専門委員長として組織を牽引した。東京工組においては、副理事長として組合の原価積算アプリケーション開発を実現し、組合員の原価管理DX化に寄与した。また、動画メディアを駆使し、企業インタビューや組合情報を積極的に発信し組合広報に貢献している。

森山 健二

ミラクル工業株式会社
代表取締役



●全日本シール印刷協同組合連合会

受賞理由

当連合会では常務理事を1期、理事を4期目、経営委員を1期、環境委員を2期歴任している。調整力、コミュニケーション能力に長けており組織運営の要として厚い信頼を得ており、組織の発展に大きく貢献した。

印刷振興賞

遠藤 乱歩

株式会社グラネット
代表取締役

●日本グラフィック
コミュニケーションズ工業組合連合会



受賞理由

平成19年5月理事就任以来16年にわたり組合の要職にあり、円滑な組合運営と活発な委員会事業に尽力。令和5年からはGC中部専務理事として理事会・総会等の運営に携わり、指導的な立場で組合に貢献した功績は顕著である。また、人格識見ともに卓越し他の範となる者であり、特に斬新な発想と、俯瞰的に物事をとらえた実行力は高く評価されている。

石田 勝年

七欧産業株式会社
代表取締役社長

●全日本スクリーン・デジタル印刷
協同組合連合会



受賞理由

世界的フィルムメーカーの加工代理店として官公庁も顧客に車両マーキング・反射材など優れた製品を提供している。北海道組合の理事長として全国大会開催などを通じ後進の育成に尽力している。

古田 育則

加久上紙工株式会社
取締役会長

●全日本光沢化工紙協同組合連合会



受賞理由

中部光沢化工紙協同組合において、12年にわたり専務理事、副理事長として組合運営・事業活動を積極的に推進した。その後、12年以上現在に至るまで監事の職を務め、後輩の指導に当たるとともに、自ら業界の多様性を追求する経営を行い、組合員の模範となり業界の発展に貢献してきた功績は、誠に顕著である。

特別賞

滋賀県印刷工業組合

未来に伝える 「淡海(おうみ)のいろ」

滋賀県印刷工業組合 理事長 中村 寿志

●全日本印刷工業組合連合会

受賞理由

印刷物の付加価値向上を目指す「淡海(おうみ)のいろプロジェクト」を令和3年度に始動。地元の滋賀県立大学との連携協定に基づき、学生の瑞々しい感性と写真家等の専門的な視点を融合させ、印刷業者ならではの色彩について協議を重ねた結果、令和4年度に12色を選定、翌5年度には15色を追加選定。これにより、県内19市町を網羅する合計27色の選定すべてが完了した。抽出された各色には滋賀の自然や特産品、文化を象徴する名称やア



イコンなどが付与され、地域の物語を紡ぐ特別な色として誕生した。「淡海(おうみ)のいろ」は、単なる印刷技術の提供に留まらず、地域の文化的価値に深く踏み込むことで付加価値向上を図ったことは、中小印刷業界の発展・振興に大きく貢献している。

